能・狂言

解説・字幕・手話付き

演目

狂言
樋の酒（ひのさけ）

能
船弁慶（ふなべんけい）
重キ前後之替（おもきぜんごのかえ）

解説
初春に願う利益
～観世音と不動明王～

狂言
野村萬斎

能
観世喜正

能／質疑応答
中森貫太

解説
葛西聖司

2025年1月26日（日）
14:00開演（13:15開場）

調布市グリーンホール 大ホール
新宿から京王線特急で16分
京王線調布駅徒歩1分

全席指定

	S席	A席	B席
一般	4,000円	3,500円	3,000円
ちょうふアートプラス会員	3,600円	3,150円	2,700円

U-25 2,000円　小中学生 1,000円　ハンディキャップ 1,000円

チケット発売日　ちょうふアートプラス会員：10月9日（水）　一般：10月16日（水）

プレイガイド

●チケットCHOFU　※発売初日9:00からインターネット販売のみ（翌日9:00～電話予約受付、10:00～窓口販売）

電話
042-481-7222（9:00～19:00）休 第4月曜日

窓口
■調布市グリーンホール（9:00～19:00）休 毎週月曜日
■調布市文化会館たづくり（9:00～21:30）休 毎月第4月曜日
■調布市せんがわ劇場（9:00～19:00）休 毎週第3月曜日
※祝日の場合は翌日・変則あり

インターネット
購入は右の二次元コードから ▶▶▶

●チケットぴあ https://t.pia.jp/
●イープラス https://eplus.jp/

公益財団法人 調布市文化・コミュニティ振興財団
Foundation for the promotion of Chofu city's culture and community

協力 横浜能楽堂
公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団

令和6年度文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

バラハートちょうふ meets ART

能・狂言 ―あらすじ―

狂言

樋の酒

主人が太郎冠者に米蔵、次郎冠者に酒蔵の番をするよう言いつけて出かける。次郎冠者が早速酒蔵の酒を飲み始めるので、太郎冠者はうらやましくて仕方がない。

そこで次郎冠者は、酒蔵から米蔵へ樋を渡して酒を流し、太郎冠者にも飲ませることに成功する。すっかり調子に乗った二人は…。

本舞台と橋掛かりをそれぞれ蔵に見立て、能舞台ならではの構造を上手く活かした狂言です。樋から酒を飲む場面では賑やかな狂言小舞がいくつも登場する酒宴も見どころです。

仕舞

よしのしずか 吉野静

頼朝との仲違いから吉野山に身を隠した源義経。ついに追手が掛かり、静御前は囮となって舞を舞って義経を逃がす。

今回は仕舞としてその舞の部分をご覧頂きます。

能

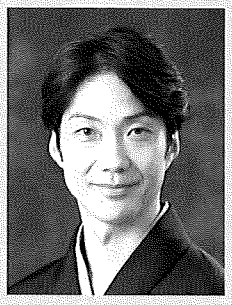
ふなべんけい 船弁慶

平家討滅の立役者、判官源義経も梶原景時の讒言により、兄頼朝に疎まれ自ら都を去って西国へ落ちようとする。

大物浦で愛妾静と惜しき別れを告げて船出した一行は、俄の大荒れの中、平家一門の怨霊に襲われるが、弁慶の必死の祈りに辛くも虎口を逃れる。

義経役の子方の可愛らしさに前場の静の哀切な心をこめての船出を祝う舞と、間狂言の船頭の活躍、後場の豪快な争いが見せ場の、人気曲の一つです。

後シテ知盛が普段は荒武者として演ずるのに、「重キ前後之替」の小書がつくと公達となり、狩衣に真の太刀という品のある扮装で、動きも優雅になります。



1966年生。東京芸術大学卒。
和泉流狂言方。「狂言ござる乃座」主宰。狂言・能公演はもとより、現代劇や映画、ドラマに主演するなど幅広く活躍。芸術祭新人賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、芸術祭優秀賞等受賞多数。
重要無形文化財総合指定保持者。

野村 萬斎
のむら まんさい

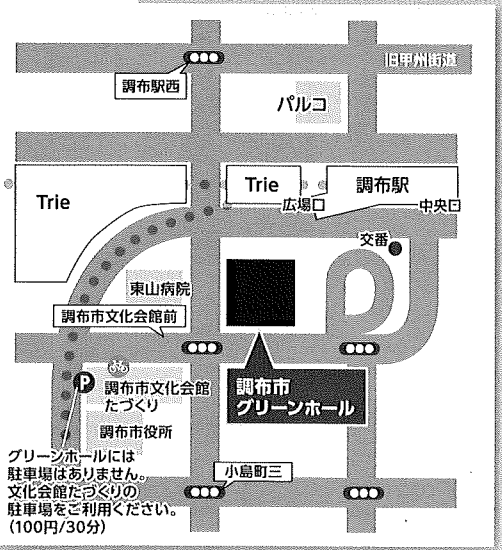
1970年生。慶應義塾大学法学部卒。観世流シテ方。三世観世喜之の長男。観世九皐会を中心に活動、国内や海外での指導や演能にも多く携わる。
（公社）観世九皐会理事長。（公社）能楽協会 理事。
重要無形文化財総合指定保持者。

観世 喜正
かんぜ よしまさ

1961年生。東京芸術大学卒。
観世流シテ方。鎌倉能舞台主催公演の他、薪能、市民能、学生を対象とした能楽教室等、能の普及啓蒙活動に積極的に取り組んでいる。（公財）鎌倉能舞台業務理事、（公社）観世九皐会メンバー。
重要無形文化財総合指定。

中森 貫太
なかもり かんた

古典芸能解説者。能や歌舞伎、文楽など日本の伝統芸能の解説や講演、執筆活動を行う。
日本演劇協会会員、日本演劇興行協会理事、早稲田大学、NHK文化センターなどの講師。
著書に「教養として学んでおきたい能狂言」「同・歌舞伎」「能狂言なんでも質問箱」など多数。

葛西 聖司
かさい せいじ

会場へのアクセス